

ファンド詳細

海千「たのしまんね宗像」離島応援ファンド

大島、地島の魅力ある素材を活かし、商品開発を行う離島応援プロジェクト



いいね! シェア ツイート

一口金額 **21,000円**

募集総額 3,000,000円

事業者名 株式会社海千

参加人数 0人

地域 福岡県 宗像市

分野 漁業・水産加工

募集期間 2018年4月26日～
2019年3月31日

シリーズ 宗像応援ファンド

特典

1口につき、大島、地島の素材を使った食品セット4,000円相当（送料・税込）をファンド会計期間中に1回お送りします。

特典の詳細をみる

ファンド情報

プロジェクト概要

海千「たのしまんね宗像」離島応援ファンド

昨年、世界遺産に登録された福岡県宗像市『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群。

宗像市で明太子の製造販売を行う「株式会社海千」。世界遺産登録推進活動および周知活動の応援を表明し、『宗像を味わう。宗像を知る。宗像を楽しむ。』をコンセプトに宗像プロジェクトを立ち上げました。そのなかで、これまで繋がりのあった大島（おおしま）と地島（じのしま）が持つ素材を活かした商品づくりや生産現場の紹介、多くの方に離島の現状の理解と関心を深めていただくため、情報発信などの取り組みを行う離島支援活動を開始しました。

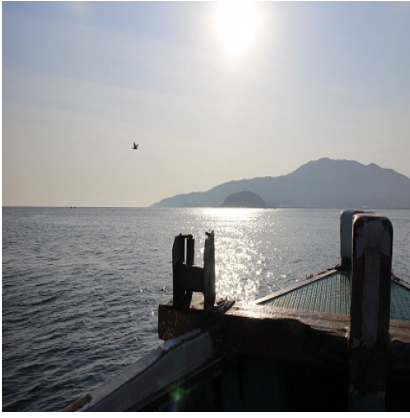
今回「宗像応援ファンド」を活用し、この離島支援活動の実施費用として300万円を募集いたします。地元食品メーカーとして「食」を切り口に行う島事業プロジェクトに注目してください。

ファンドニュース

ニュースカテゴリ

アーカイブス





ご出資いただいた方々には、1口につき『大島、地島の素材を使った食品セット』をファンド会計期間中に1回お送りします。株式会社海千が手がける島の魅力ある素材が詰まった食品を是非ご賞味いただきたく、応援のほどもどうか宜しくお願いいたします。

本ファンド対象事業の魅力

離島、大島（おおしま）と地島（じのしま）とは



離島、大島と地島の位置関係。本土から市営渡船（フェリー、旅客船）が出ています。

【大島】

大島は、周囲約15km、人口約700人の島です。小高い山林や原野が島の大半をしめており、宅地は島の南側に集まっています。近海は、豊富な魚介類を育む筑前海域有数の漁場となっており、漁業が島の基幹産業となっています。恵まれた自然環境を活かした観光・レジャースポットとしても注目されています。大島には、世界遺産の構成資産として宗像大社中津宮と沖津宮遙拝所の2箇所があります。



大島にある風車展望所、夢の小夜島（室町時代の連歌師宗祇の筑紫道中記に歌われた島）

ご参考)

- ・宗像大島サイト : <http://munakataoshima.com/index.html>
- ・大島マップ

【地島】

地島は周囲約9.3km、人口約150人の小さな島です。泊地区と白浜（豊岡）地区の2つの集落があり、ワカメ、ウニ、アワビなどの磯漁業・釣漁業が盛んとなっています。島内には約6,000本のヤブ椿が自生するなど、自然におおわれています。その土地柄から釣り客も多く訪れています。地島を代表する特産品「わかめ」は、地島近海の浅瀬で、太陽の光を浴び玄界灘の荒波にもまれた良質な天然わかめです。現在、漁師の皆さんが、この自慢のわかめのブランド化を目指しています。また島には、ヤブ椿と呼ばれる椿から取れる良質な椿油の加工工場もあります。



自然に覆われた地島の風景、天然のヤブ椿の群生が広がっています

ご参考)

- ・地島サイト : <http://jinoshima.net/index.htm>
- ・地島マップ

「離島支援活動」のきっかけと決意

明太子メーカーである株式会社海千は食を通して、地域貢献活動に取り組んできたここ数年、宗像の魅力ある素材との出会いを求める中で離島の大島、地島とも繋がりがありました。

世界文化遺産登録で注目の集まる大島ですが、島の収入源となる主要産業および、島の産業を支える支援環境には様々な問題があることに気が付きました。また地島に関しては、大島より課題が多く、官民間問わず早急な支援と産業化の枠組みを整備することが必要となっています。どちらの島も、人口減少（流出）に歯止めがかからない状況を生んでいる根本的な問題に向き合うためにも、産業の復活、あるいは新規事業の発掘が今後は絶対的に必要であると、株式会社海千は思い立ちました。

まずできることは、最初の一步を踏み出すことです。島の現状をより多くの人にまずは知っていただくことが大事です。食を通して、島の素材をかけあわせることで新しい発想が生まれたり、人の繋がりが生まれる、今までなかった交流が島内で行われていくことを創出していきたいと考えています。



島の生産者のみなさま

この宗像の食の魅力伝えるための活動全般を総じて、株式会社海千は「宗像プロジェクト」と呼んでいます。その活動内容は、地域貢献活動、離島支援活動、世界遺産応援活動、周知活動をイメージしています。「離島支援活動」には、お客様と一緒に島に向いて現地体験会を行い、その島の魅力を一緒に味わっていただく活動があります。

施設の整備に投資し、その環境を大きく変えることも重要です。しかし、すでにあるもの、眠っている資産である島の魅力を掘り起こすことをまず先行して実行していきたいと考えています。老若男女を問わず、各自の経験や知識を持ち寄り、柔軟に意見交換ができる環境を整えていくこと、商品開発や生産現場の体験会などについて、島の生産者の方々と同じテーブルで話し合いながら作り上げていくことができれば、島外の方に現状を知っていただく良い「きっかけ」になるのではないかと思います。

そのような想いを抱きながら、株式会社海千はこの島事業の取り組みを始めています。

これまでの大島、地島における取り組み

【大島】



大島 甘夏みかん畑



大島で甘夏みかんの収穫と、甘夏みかん明太子づくり教室を行いました。市より大島の遊休地をご紹介いただき、島内の甘夏みかん畑を去年より、1区画利用しています。

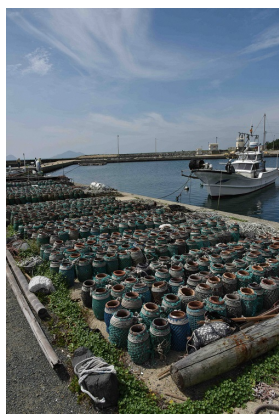


また大島の竹あかりワークショップに企業枠として参加。大島七夕まつりに飾る竹あかりを島内外の参加者の方と皆で協働して製作する際に、大島に伝わる七夕伝説や、島に引き継がれる伝統行事についてのお話も伺いました。



大島で毎年8月7日（旧暦の7月7日）に行われる七夕祭は宗像大社中津宮のお祭りです。七夕当日は神前に笹竹を立て、それに願い事を書いた五色の短冊を飾ります。神事のあと境内で七夕踊りが奉納されます。この日ばかりは島内外から多くの方が訪れ、鳥居を囲むように大きな踊りの輪ができ、夜遅くまで賑わいます。

【地島】



地島の漁師さんが採る天然わかめ



「宗像地島天然わかめ」加工体験会を実施しました。



地島の天然わかめは収穫量が限られることもあり、人気で入手が難しい素材です。この天然わかめがいったいどんな作業を経て、商品になっているのか、関心をお持ちの方々が多く集まっていただきました。参加者の方々はいくつかのグループになって、漁師の方々と一緒にわかめの芯抜き作業などを行いました。



地島の椿の山の保護を目的に苗を植樹しました。



地島にはヤブ椿の群生が広がっていますが、山は手入れをしないと、雨を吸収し蓄える力が衰えていくほか、猪が大事な農作物を食い荒らす被害なども出ています。こうしたこともあって、島の方々や多くのボランティアさんの手によって椿の苗を育て植樹するなどしています。株式会社海千も植樹に参加し、山の手入れや景観の保全に協力しています。後には椿油を作り、島の産業を維持していくことにもつながります。

島事業における支援活動を通して、株式会社海千は改めてこの大島、地島の持つ魅力ある素材の可能性、島の生産者さんたちのこだわりやプライドを感じました。そして、生産現場の体験会などを実施することで、より多くの方に知ってもらうことがいかに大事であるかも認識しました。株式会社海千は大島、地島の魅力のある素材を持つ生産者と共同商品開発して、新しい商品づくりで大きくこの離島のPRも実施していきます。

「宗像応援ファンド」を活用して

今回ファンドを通して、実現していくこと

株式会社海千は離島の素材、生産物を活かした商品開発を実施していきます。すでに商品の販売も開始しています。大島、地島には島で採れる素材が数多くあります。魅力ある素材とのかけ合わせによる新商品をこれから開発していきます。

**大島・・・甘夏みかん、スイートスプリング（柑橘類）、ほか農産物
ひじき、あかもくなどの海藻類**



▲宗像大島 あかもくせんべい

大島周辺海域は、優良なあかもくの育成場があり、魚介類にとって重要な藻場の役割も果たしています。宗像漁協大島支所では、水産資源の保護と島内漁業の活性を目的としたあかもく養殖事業にも取り組んでいます。宗像漁協大島支所との共同開発の商品が、この「あかもくせんべい」です。

あかもくとは一年性の大型褐藻で、藻場（流出後は流れ藻）を形成します。藻場は産卵場や幼稚魚の生育場としての機能があり、水産資源の保護や増大に重要視されています。



▲あかもくの最大の特徴は、粘りのある食感

あかもくの粘りは、フコイダンやアルギン酸などに代表される多糖類が関与しているとされています。特に、フコイダンは、抗血液凝固活性、コレステロールの低下作用、抗腫瘍効果などの働きを持つことが知られています。また、熱を加えることにより褐色から鮮やかな緑色に変化します。あかもくは、1月から2月の成熟途上期を経て3月には成熟期をむかえ、ごく短期間で生殖器床が発達し、湯通し加工して鮮やかな緑色、強い粘り、豊富なフコイダンが確認できる時期は、数週間という短期間に限られています。



▲大島周辺には優良なあかもく生育海域が存在します

いまでこそ「あかもく」と言えば「ねばりのある海藻」で、健康にいいということが知られるようになりましたが、大島では平成15年ごろからあかもくの収穫が始まったそうです。当時は原藻を葉の形が残る程度に裁断しゆでて食べられてましたが、ぎしぎしとした独特の食感のせいもあって、あまり広く食卓に利用されることはありませんでした。日本にはあかもくの収穫が多い地域がほかにもあり、各地でさまざまな食べ方をされ広まっていったそうです。宗像市あたりでは、のどごしよく食べやすいようにミンチ機で細かく裁断され、強い粘りと海藻のいい香りともにツルツルっと食べられます。醤油やポン酢をかけてそのまま食べることが多いようですが、汁物に入れると風味がよく味噌汁やうどんのだし汁にも加えられます。



▲大島産 甘夏みかん明太子

海千の甘夏みかん明太子には、大島産の早生の甘夏みかんが使われています。一口食べた瞬間に甘夏みかんの香りや味わいがぱつと広がるように、甘夏みかんの特長を前面に出している商品です。大島の甘夏は、今では島の特産品として認知もされていますが、もともと島では「夏みかん（品種不明）」が島民の間で楽しまれていました。その後、夏みかんの価格が落ち始めたことにより50年ほど前から甘夏が栽培され、今では大島の代表的な柑橘類となりました。

**地島・・・ひじき、あかもく、わかめ、めかぶ、そうめんのりなどの海藻類
 椿油や椿の花びらなど**



▲宗像市地島の椿からとれた、純度100%の椿油「食べる椿油」

宗像市地島には、ヤブ椿の群生があります。手作業で実を拾い集め、完全に乾燥させたものを、非加熱の専用機械で搾り、ゆっくりと時間をかけて、精油しています。国産の天然椿油ですので贈答用としても人気があります。椿油はスキンケアとして使用されることが有名ですが、島ではこの椿油は食用としても使われています。昔は、家の木材の手入れなどにも使われていたそうです。



▲2018年初穫れ「宗像地島天然わかめ」

地島で、今年初収穫された天然わかめの塩蔵品です。玄海灘と響灘の潮がぶつかり合う曾根(そね)と呼ばれる海域で育った天然わかめは、潮にもまれて歯ごたえがよく、のどごし滑らかな食感が特徴です。曾根で操業できる気象条件、海洋条件は限定されています。解禁後、最初の漁でとれた新芽を厳選してすぐに湯通しし、塩蔵しています。また、地島天然わかめは、板わかめに加工されて、毎年宗像大社を通じて皇室に献上されているということも有名です。

地域特有の生産物をブランド化し、その価値を高めていくことを目的とした「地島天然わかめプロジェクト」において、流通協力事業者として株式会社海千も参画しています。今後は現地生産車のブランド化への意識の向上と地域ブランド商品としての確立を目標としていきます。

全国各地の離島にはそれぞれの現状があり、課題や問題点が存在していると言われていますが、宗像市の二つの離島もまさにその状況ではないかと考えています。さらにこのことは、外部からはわかりにくく、島の内部だけでは解決が困難であると感じています。

今回のファンドを通じて、離島が抱える問題点の解決に向けて外部の視点と内部の想いをうまく融合させるということ、宗像の食品メーカーという立場からできることを最大限に行い、魅力ある素材を活かした商品開発を実現させたいと考えます。

営業者紹介



株式会社海千

福岡県宗像市の明太子メーカー。先代から引き継がれる昔ながらの味付けが人気の辛子明太子 選（せん）に始まり、素材の特徴を活かした種類豊富な明太子を製造している。宗像市王丸の工場を併設した本店では、できたての明太子をお好みの量でお買い求めいただける「量り売り」スタイルを採用。また、宗像市の魅力ある素材と明太子とのコラボ商品も開発。「おかず明太子」というジャンルを確立し、手羽先明太子などをはじめ食卓の主役級商品5種類を常時販売。まるでからすみのような食感を目指した「乾熟明太」は、濃厚な味わいとその食感がお土産にも好評でリピーターの多い商品に成長。

地域素材を活用した商品開発の一方で、地域連携にも取り組む。その一つとして、宗像のものづくり集団「むなこれ」に参加し、宗像のPRにも努めている。また、事業者連携を活発に行う「LOOPSむなかた」にも参加。宗像市内の事業者連携で、宗像市のPRに努めている。



株式会社海千の商品はTV取材などメディアでも数多く取り上げられています



従業員みな「自分の大切な人に食べてもらう」という思いを込めて、作っています

【会社沿革】

- 1995年（平成7年）先代 萩尾孝充（終身名誉顧問）株式会社 海千 設立
- 2007年（平成19年）井川英治社長に就任
- 2010年（平成22年）1月新社屋竣工・八幡店開設
- 2012年（平成24年）3月1日ゆめタウン宗像店 テナントオープン
- 2014年（平成26年）3月1日JR博多シティ DEITOS店 テナントオープン

会社紹介サイト：<http://tarakomentaiko.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/karashimentaiko.kaisen/>

代表者紹介



代表取締役 井川 英治 (いがわ えいじ)

【プロフィール】

1997年3月 東海大学海洋学部卒業。
1997年4月 海藻食品メーカー入社、その後株式会社海千に入社。
2007年1月 代表取締役に就任。
2008年4月 伸興産業株式会社 代表取締役に就任。
現在に至る。

ご担当者メッセージ

常務取締役/島担当 井川 春奈

2017年7月9日。宗像市は、幸運にも世界文化遺産登録の資源を有する街として新たなスタートを切ることになりました。全国各地から注目されることになったことは、宗像市にとっても、市民にとってもまた、島民にとっても宗像の存在を見つめ直すきっかけとなる出来事でした。それゆえに、今更ながらに気づいたことは、「神守る島」として最も近い位置で沖ノ島に畏敬の念を持ち続けてきた大島と、「海の恵みがいただけるのは神様のおかげ」と口をそろえる地島の存在です。

大島、地島に何度も足を運ぶうちに気付いたことは、日常生活の中に「沖ノ島」に宿る神様の存在があり、大きな支えとなっているということでした。VRやAIという時代になってもそれは変わらず、次の世代へと継がれているということにも驚きました。この島で生きていくことを決めたと話して下さった漁師の嫁であり個人店を開業した子育てママたち、漁協関係者、漁師、現役を引退され海藻加工作業を手伝う高齢の方、島外からお嫁に来て家業を継がれた女性たちなど、みなさんが口をそろえて言われることは、島を守っていくためにも、若い世代が島で生きていけるような収入源を作る必要があるということでした。

また、島には魅力ある素材が多くあることにも気づくと同時に、手入れが行き届かない状況も知りました。たわわに実る甘夏みかんの畑は、耕作放棄が増加する一方。椿の花は美しいけれど手入れができず無法地帯になっている山の急斜面。海にはわっさりとひじきが茂るけれど収穫する人手がなく手つかずになっているひじき地帯。島の抱える現状にはいろいろありますが、すでにある島の素材などを使った魅力ある商品を開発し認知を広めていくことから始め、引き続き、新しい島の魅力を探求していきたいと思えます。この事業にご賛同いただき、投資家の皆さま方には温かく見守っていただきたく思います。

ファンド対象事業内容

出資金を用いて営業者が行う、大島（おおしま）、地島（じのしま）の素材を使った商品の販売事業。

なお、事業計画上の売上およびその実現施策、事業計画時の分配金額等については「プロジェクト概要 分配シミュレーション」ページをご覧ください。

資金使途

ファンド資金は、以下の内容にて使わせていただきます。

項目	金額
設備費用	1,500,000円
運転資金(原材料費含む)	1,500,000円
合計	3,000,000円

投資家特典

1口につき、大島、地島の素材を使った食品セット4,000円相当（送料・税込）をファンド会計期間中に1回お送りします。



※写真はイメージです



※写真はイメージです

(注1) 海外への発送はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

(注2) 特典の詳細につきましては、契約期間中、別途ご連絡いたします。

(注3) 特典は、営業者の都合により内容が変更される場合や、実施ができなくなる場合もあることをご留意ください。

こんなファンドもあります

半分
寄付

熊本川尻和菓子職人 菓舗
梅園ファンド

半分
寄付

千代の園酒造 熊本米「華
錦」ファンド

半分
寄付

九州食農連携 熊本物産ジ
ビエファンド

半分
寄付

阿蘇地獄温泉 すずめの湯
復興ファンド

半分
寄付

健成園 熊本産オーガニック
茶応援ファンド

サービス

ファンド
セキュリテストア
セキュリテ寄付
会員登録

ニュース

セキュリテニュース
ファンドニュース
イベント情報
投資家限定ニュース

サポート

セキュリテとは
ガイド
よくある質問
お問い合わせ

運営会社

企業情報
採用情報
メディア掲載

運営会社 | プライバシーポリシー | 特定商取引法に基づく表記 | 勧誘方針 | 反社会的勢力に対する基本方針 | 利用規約

【ご留意事項】

当社が取り扱うファンドには、所定の取扱手数料（別途金融機関へのお振込手数料が必要となる場合があります。）がかかるほか、出資金の元本が割れる等のリスクがあります。取扱手数料及びリスクはファンドによって異なりますので、詳細は各ファンドの匿名組合契約説明書をご確認ください。

ミュージックセキュリティーズ株式会社 第二種金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1791号 加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会
Copyright (C) 2018 Music Securities, Inc. All Rights Reserved.

